

医師確保に向けた取組状況について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

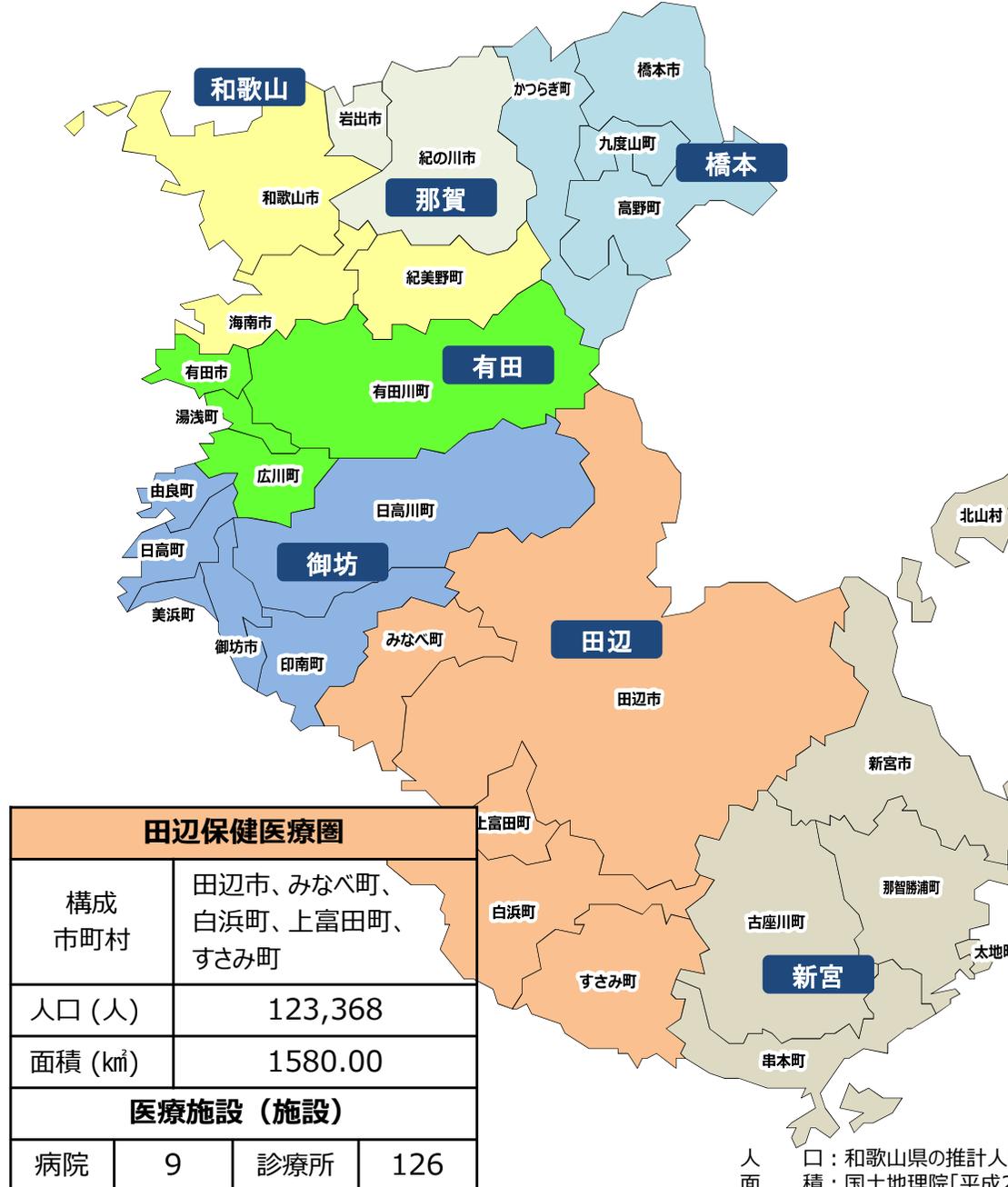
和歌山県の保健医療圏の概況

人口：934,091人（2018.10） 病院：83施設 診療所：1035施設（2017.10）

和歌山保健医療圏			
構成市町村	和歌山市、海南市、紀美野町		
人口(人)	416,039		
面積(km ²)	438.24		
医療施設(施設)			
病院	43	診療所	503

有田保健医療圏			
構成市町村	有田市、湯浅町、広川町、有田川町		
人口(人)	71,104		
面積(km ²)	474.86		
医療施設(施設)			
病院	6	診療所	74

御坊保健医療圏			
構成市町村	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町		
人口(人)	61,119		
面積(km ²)	579.02		
医療施設(施設)			
病院	4	診療所	66



田辺保健医療圏			
構成市町村	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町		
人口(人)	123,368		
面積(km ²)	1580.00		
医療施設(施設)			
病院	9	診療所	126

那賀保健医療圏			
構成市町村	紀の川市、岩出市		
人口(人)	113,442		
面積(km ²)	266.72		
医療施設(施設)			
病院	8	診療所	104

橋本保健医療圏			
構成市町村	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町		
人口(人)	85,082		
面積(km ²)	463.42		
医療施設(施設)			
病院	5	診療所	90

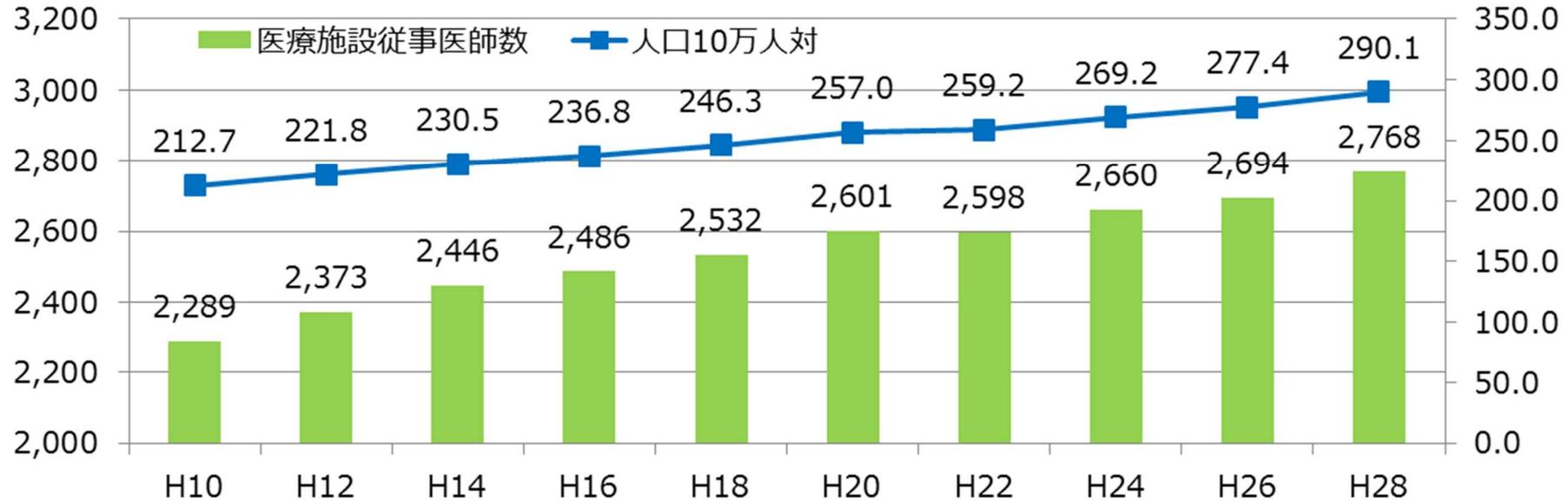
新宮保健医療圏			
構成市町村	新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町		
人口(人)	63,897		
面積(km ²)	922.45		
医療施設(施設)			
病院	8	診療所	72

人口：和歌山県の推計人口（平成30年10月1日）
 面積：国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
 医療施設：厚生労働省「平成29年医療施設（静態・動態）調査」

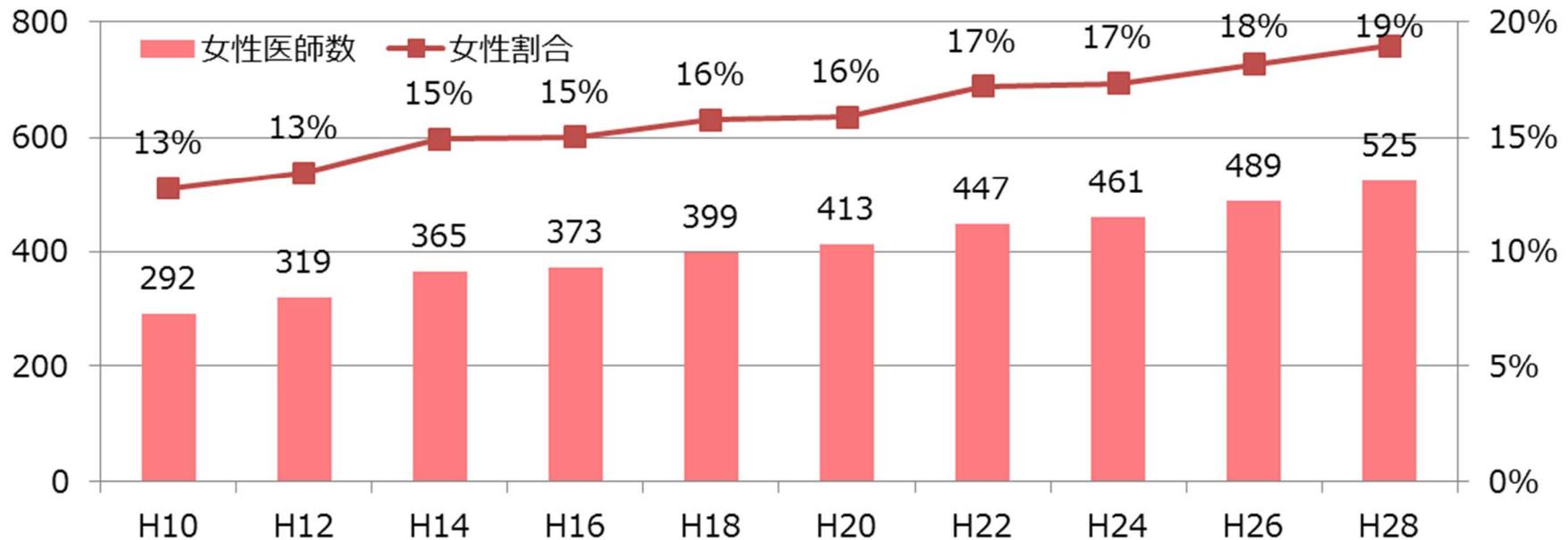
和歌山県における医師数の推移

【本県の医療施設従事医師数（全体）の推移】

(厚生労働省：医師・歯科医師・薬剤師調査)

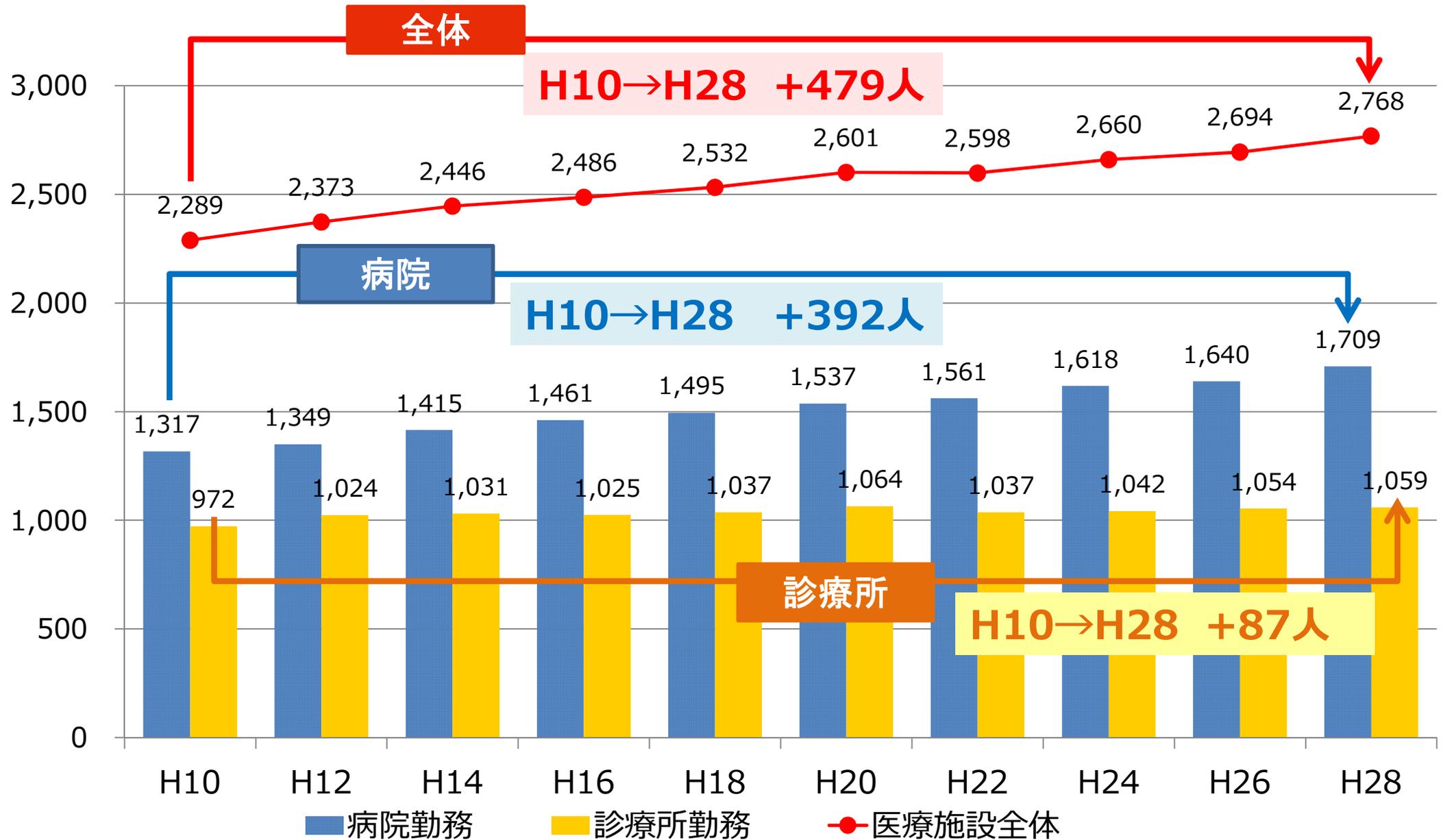


【本県の医療施設従事医師数（女性）の推移】



和歌山県の医療施設従事医師数の推移（医療施設別）

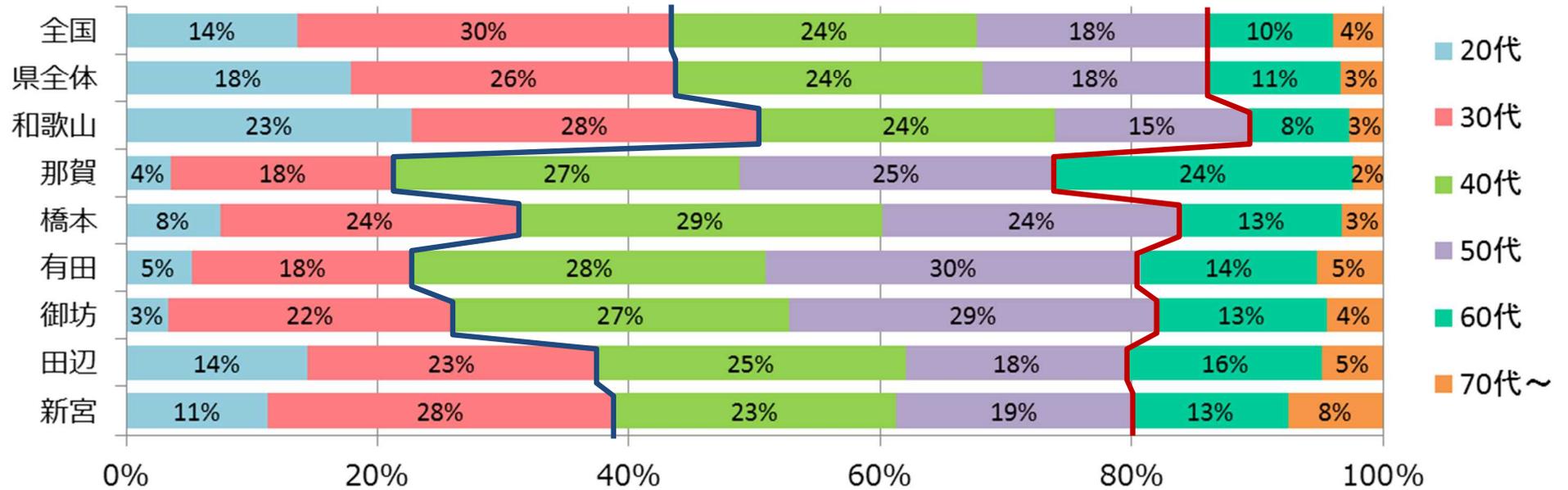
- 平成10年から平成28年の医師増加数の約8割は病院勤務医（392人／479人）



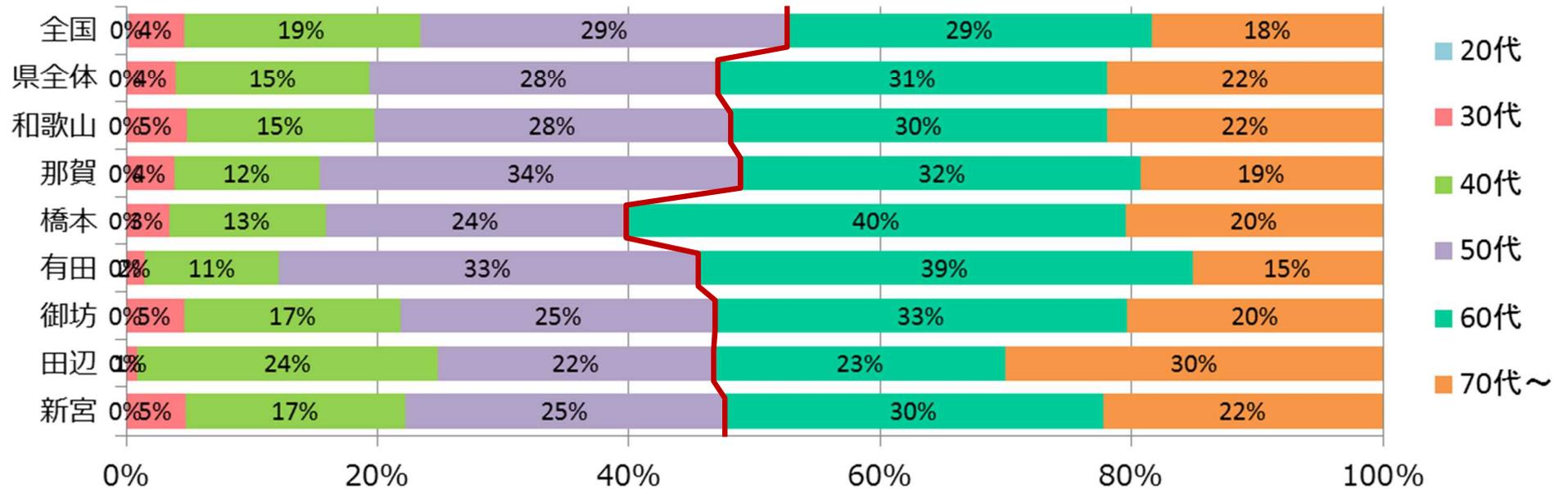
和歌山県における医師の年齢構成

病院勤務医の医療圏別年齢構成

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)



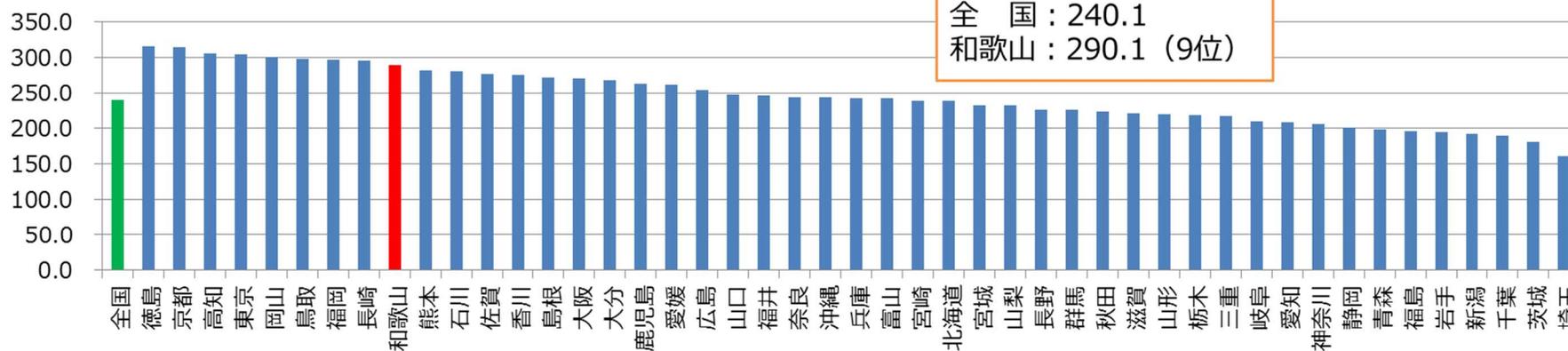
診療所勤務医の医療圏別年齢構成



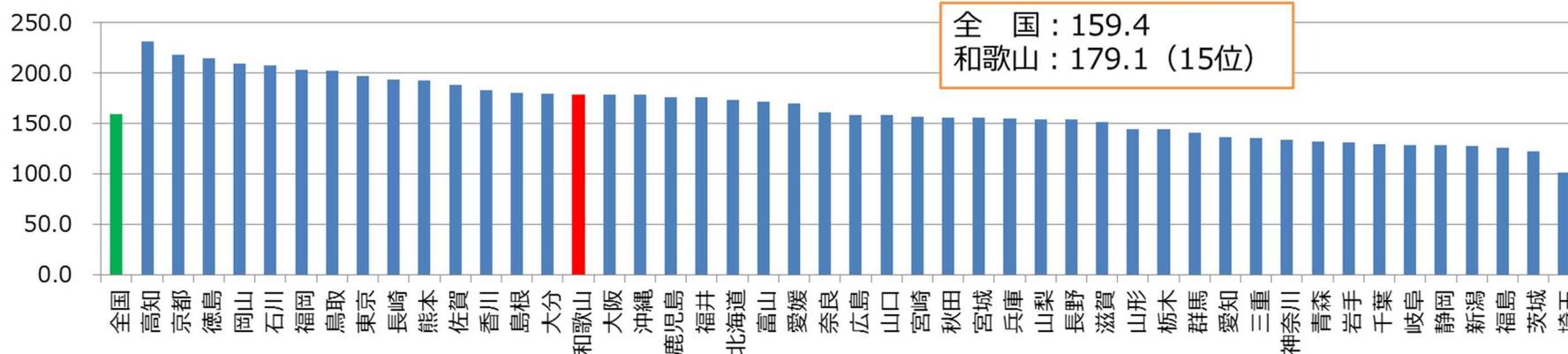
10万人あたりの医師数の全国比較

医療施設従事医師数 (対10万人) ※病院+診療所

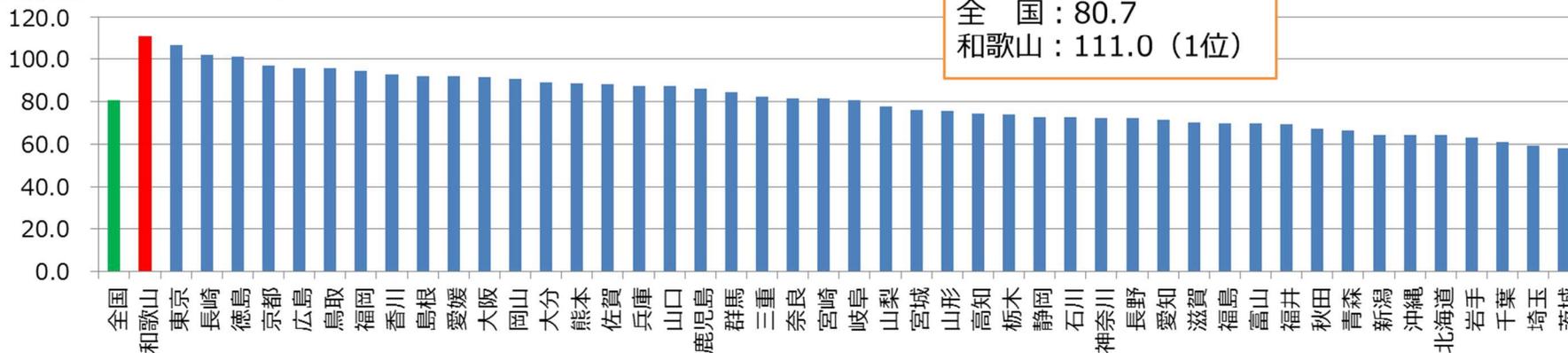
(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)



病院従事医師数 (対10万人)



診療所従事医師数 (対10万人)

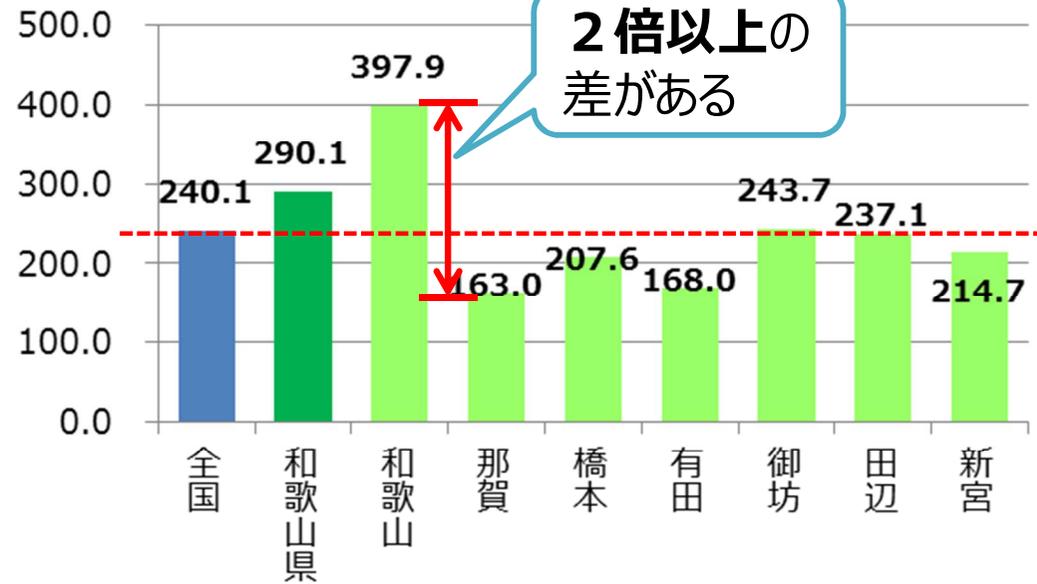


和歌山県における医師の地域偏在

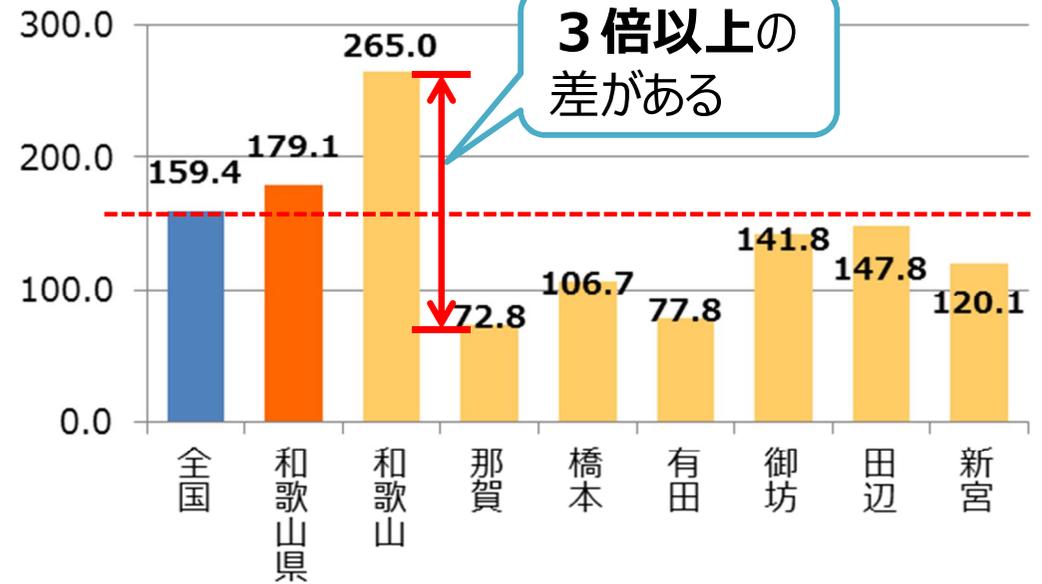
【人口10万人あたりの医療施設従事医師数】

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

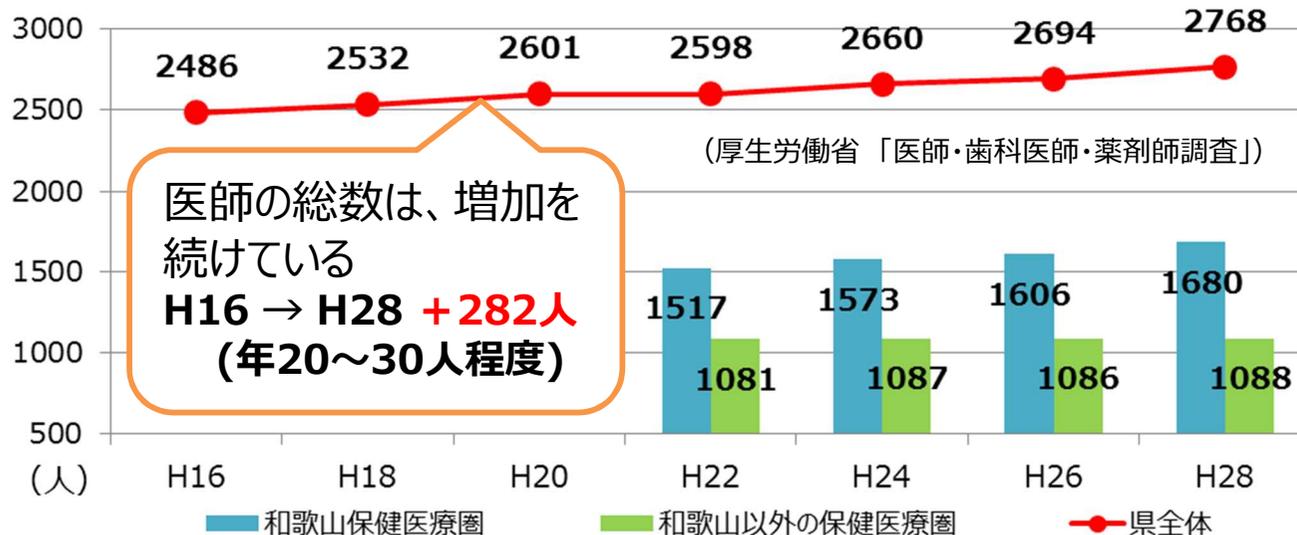
【医療施設全体】



【病院のみ】



【県内の医療施設従事医師数の推移】



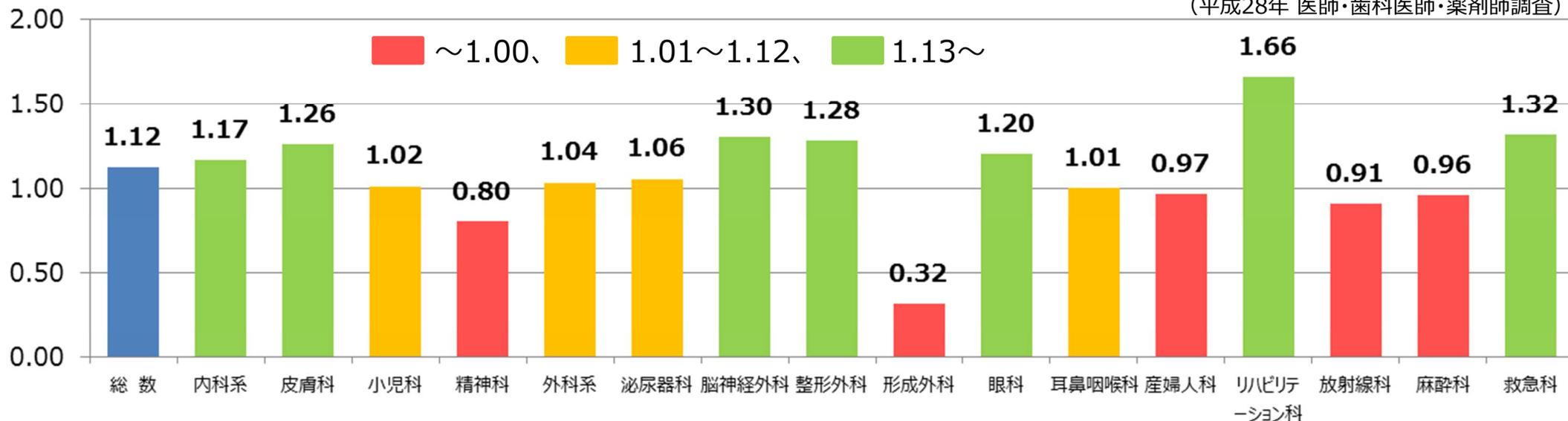
◆和歌山保健医療圏の医師数は増加しているが、和歌山以外の保健医療圏については、横ばいで推移

医師数 (人)	H22	H28	H22→H28
和歌山保健医療圏	1,517	1,680	+163人
和歌山以外の保健医療圏	1,081	1,088	+7人

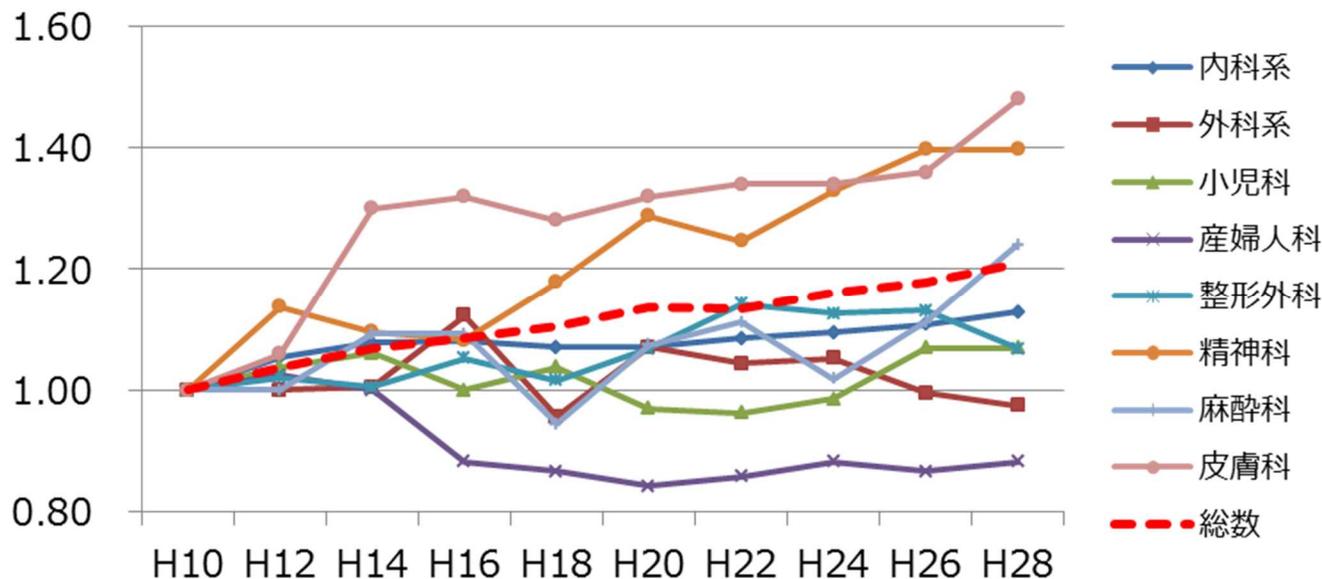
和歌山県における医師の診療科偏在

〔人口10万人あたりの主な診療科の病院勤務医師数（対全国比）〕

（平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査）



〔県内の診療科別医師数の推移〕



（医師・歯科医師・薬剤師調査）

◆ 診療科によっては、人口10万人あたりの医師数が、全国平均を下回っている

〔産婦人科 → 0.97
精神科 → 0.80 等〕

◆ 診療科の医師数の推移においても、総数の増加に比して、外科、産婦人科などは低位となっている

和歌山県の医師確保対策（地域偏在対策）

- 医師の地域偏在を解消するため、医学部定員を増員し、将来地域医療に従事する意志を有する者を対象とした入学枠を設定し、地域での定着を促進

募集枠	恒久・時限別	定員(年間)	派遣中の診療科	卒業後の配置先	定着するための主な方策等																		
自治医科大学	恒久措置	2～3名	内科（総合診療）	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療拠点病院 ・へき地診療所 ・県立保健所 等 	<p>○自治医大修学資金貸与期間の1.5倍（9年間）に相当する期間、県職員として採用し、知事が指定する医療機関での勤務を条件に返還を免除。</p> <p>○義務期間のうち、5年間で地域医療に従事。</p> <p>【卒業後9年間のキャリア形成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td><td>2年目</td><td>3年目</td><td>4年目</td><td>5年目</td><td>6年目</td><td>7年目</td><td>8年目</td><td>9年目</td> </tr> <tr> <td>臨床研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td>後期研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td></td> </tr> </table>	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目															
臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣																		
和歌山県立医科大学 地域医療枠 ※入学定員増員 H20年度 5名新設 H22年度 5名増	時限措置	10名	内科（総合診療） ※例外的に 産科・精神科 も認める	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療拠点病院 ・へき地診療所 等 	<p>○県修学資金貸与期間の1.5倍（9年間）に相当する期間、知事が指定する医療機関で勤務することを条件に返還を免除。</p> <p>○義務期間のうち、5年間で地域医療に従事。</p> <p>【卒業後9年間のキャリア形成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td><td>2年目</td><td>3年目</td><td>4年目</td><td>5年目</td><td>6年目</td><td>7年目</td><td>8年目</td><td>9年目</td> </tr> <tr> <td>臨床研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td>後期研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td></td> </tr> </table>	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目															
臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣																		
和歌山県立医科大学 県民医療枠 ※入学定員増員 H20年度 20名新設	恒久措置	20名	自由	<ul style="list-style-type: none"> ・県内公的病院 	<p>○卒業後9年間のキャリア形成を地域の中核的役割を果たす和歌山県内の公的病院で行い、県民医療を担う指導的・中心的人材として育成。</p> <p>○義務期間のうち、4年間で地域中核病院で勤務。</p> <p>【卒業後9年間のキャリア形成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td><td>2年目</td><td>3年目</td><td>4年目</td><td>5年目</td><td>6年目</td><td>7年目</td><td>8年目</td><td>9年目</td> </tr> <tr> <td>臨床研修</td><td>後期研修</td><td colspan="2">地域派遣</td><td>後期研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td></td> </tr> </table>	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	臨床研修	後期研修	地域派遣		後期研修	地域派遣			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目															
臨床研修	後期研修	地域派遣		後期研修	地域派遣																		
近畿大学医学部 和歌山県枠（※） ※入学定員増員 H22年度 5名新設 H24年度 5名増	時限措置	10名	[へき地医療コース] 内科（総合診療）	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療拠点病院 ・へき地診療所 等 	<p>○県修学資金貸与期間の1.5倍（9年間）に相当する期間、知事が指定する医療機関で勤務することを条件に返還を免除。</p> <p>○義務期間のうち、5年間で地域医療に従事。</p> <p>【卒業後9年間のキャリア形成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td><td>2年目</td><td>3年目</td><td>4年目</td><td>5年目</td><td>6年目</td><td>7年目</td><td>8年目</td><td>9年目</td> </tr> <tr> <td>臨床研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td>後期研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td></td> </tr> </table>	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣			
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目												
臨床研修	地域派遣			後期研修	地域派遣																		
[特定医業コース] 産科、小児科、 麻酔科、救急科	<ul style="list-style-type: none"> ・県内公的病院 (産科、小児科、麻酔科、 救急救命センター) 	<p>○県修学資金貸与期間の1.5倍（9年間）に相当する期間、知事が指定する医療機関で勤務することを条件に返還を免除。</p> <p>○義務期間のうち、7年間で専攻した特定医業に従事。</p> <p>【卒業後9年間のキャリア形成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td><td>2年目</td><td>3年目</td><td>4年目</td><td>5年目</td><td>6年目</td><td>7年目</td><td>8年目</td><td>9年目</td> </tr> <tr> <td>臨床研修</td><td>後期研修</td><td colspan="2">地域派遣</td><td>後期研修</td><td colspan="3">地域派遣</td><td></td> </tr> </table>	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	臨床研修	後期研修	地域派遣		後期研修	地域派遣						
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目															
臨床研修	後期研修	地域派遣		後期研修	地域派遣																		

※近畿大学和歌山県枠については、臨床研修終了時点でコースを選択

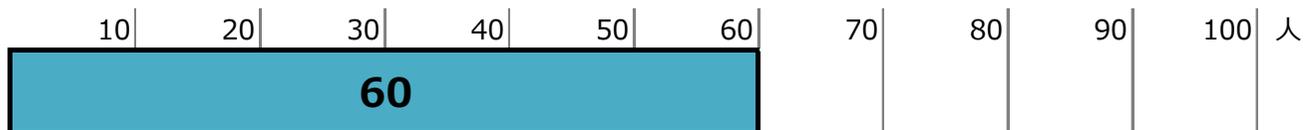
和歌山県における医学部定員の推移

和歌山県立医科大学

恒久定員

臨時定員※

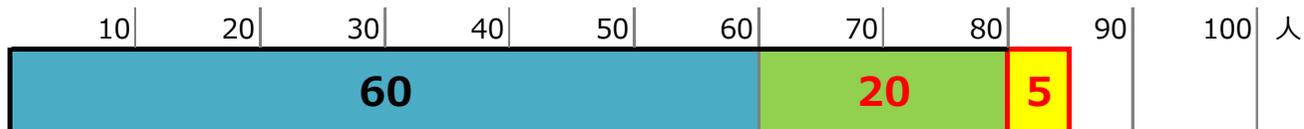
～H19年度	定員
全体	60
一般枠	60



・医学部の定員は、全国の医育大学の中で最少

H20年度	定員
全体	85
一般枠	60
県民医療枠	20
地域医療枠	5

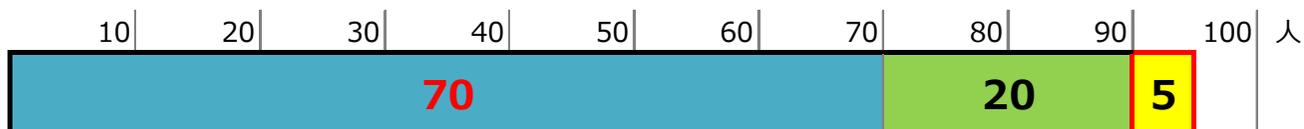
↓ +25名



・国の緊急医師確保対策に基づき、**25名の増員**（全国で一番の増加）
 ・全国応募の「**県民医療枠**」と、県内募集の「**地域医療枠**」の二つの制度を創設

H21年度	定員
全体	95
一般枠	70
県民医療枠	20
地域医療枠	5

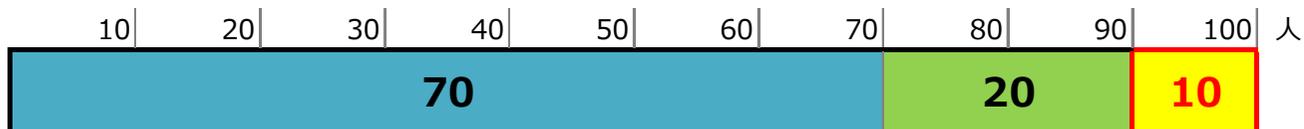
↓ +10名



・早急に過去最大程度まで増員するという方針に基づき、**一般枠を10名増員**（経済財政改革の基本方針2008）

H22年度	定員
全体	105
一般枠	70
県民医療枠	20
地域医療枠	10
近大地域枠	5

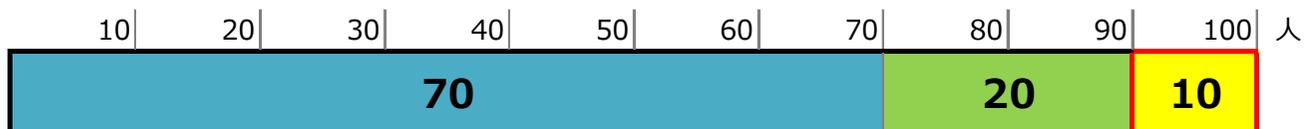
↓ +10名



・地域の医師偏在対策を講ずるという方針に基づき、**地域医療枠を5名、近大和歌山県枠5名増員**（経済財政改革の基本方針2009）

H24年度～	定員
全体	110
一般枠	70
県民医療枠	20
地域医療枠	10
近大地域枠	10

↓ +5名



・地域の医師偏在対策を講ずるという方針に基づき、**近大和歌山県枠5名増員**（新成長戦略）

近畿大学 医学部

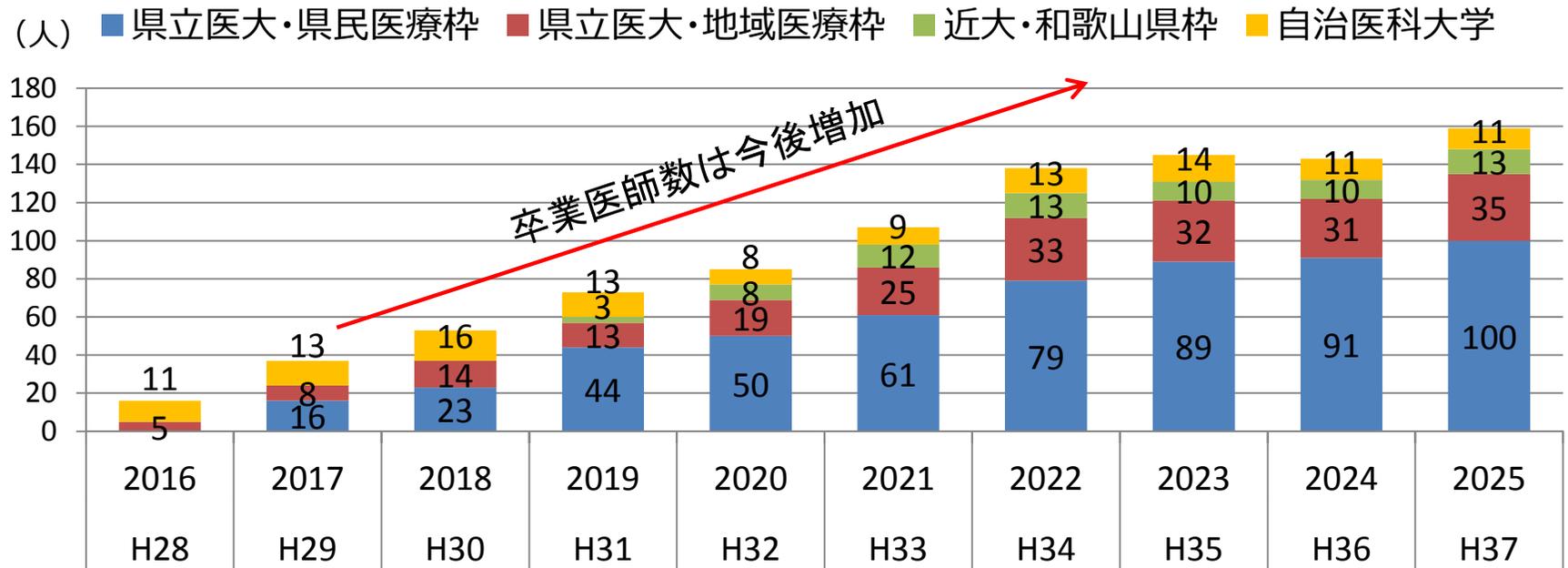
5

10

医学部定員増員の効果

- ・地域枠 1 期生（H20入学者）が、平成28年度より順次、地域の医療機関で勤務を開始
- ・2022年度以降には、地域で従事する若手医師を、100名以上確保

■ 医学部入学定員増による医師派遣（1次派遣・2次派遣）人数推移



	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
県立医大・県民医療枠	0	16	23	44	50	61	79	89	91	100
県立医大・地域医療枠	5	8	14	13	19	25	33	32	31	35
近大・和歌山県枠	0	0	0	3	8	12	13	10	10	13
自治医科大学	11	13	16	13	8	9	13	14	11	11

※H31以降は、現在の在籍者が全てが地域医療に従事するものとして推計

和歌山県の医師確保対策（診療科偏在対策等）

- 医師が不足している診療科について、県内での勤務を促進するための返還免除付き研究資金等貸与制度や、県外医育大学への寄附講座設置により、医師確保を推進

制度名		対象者	診療科	貸与額	利子	返還免除条件	事業開始	
研究資金等貸与	産科医確保研修資金及び研究資金	研修資金	産科	300万円 (一括貸与)	年 0.3%	貸与後合計4年間（貸与期間2年、義務期間2年）、県内の分娩取扱病院で勤務	H28～	
		研究資金		500万円 (一括貸与)	年 0.3%			
	精神科医師確保研究資金	研究資金	県外から新たに県内公立病院に赴任する医師	精神科	①150万円 ②300万円 (一括貸与)	年 0.3%	下記の勤務期間を県内公立病院で精神科医師として勤務 ①1年間 ②2年間	H30～
	特定診療科医師確保研修資金	研修資金	和歌山県立医科大学県民医療卒業医師（卒後3～9年目）	小児科 精神科 救急科	150万円 (一括貸与)	年 0.3%	卒後9年間、県内公的病院で勤務 ※県民医療卒入学時の誓約期間と同じ	H29～

制度名		配置人員	診療科	予算額	勤務条件等	事業開始
医師派遣	緊急時医師派遣・若手医師支援	指導医派遣	内科等	40,000千円 (単年) ※通年5名分	【派遣医師の役割】 ・医師不足病院での勤務 ・若手医師の指導 (H30実績：通年4名派遣)	H28～

制度名		配置人員	診療科	予算額	勤務条件等	事業開始
寄附講座	精神科医師緊急確保対策	寄附講座設置	精神科	15,500千円 (単年) ※精神科医師の給与含む	寄附講座の教員は、県内公的病院（精神科）において、病院の正規職員と同様の診療業務（当直を含む）に従事 ※週1日の研究日を取得可能	H31～